

令和7年度農作業事故発生状況

令和8年7月21日
農産園芸課

1 概要

- 調査期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- 事故状況
事故件数… 74件（死亡6件、重傷16件、軽傷46件、不明6件）（前年比+18件）
死亡者数… 6人（前年比▲2人）

2 死亡事故

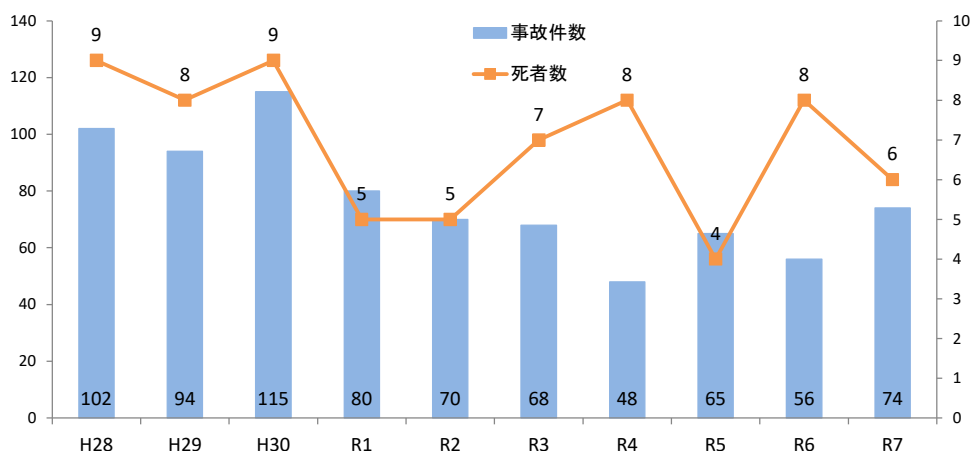
6件中3件は機械利用時の事故です。機械利用時の事故は、重大事故に繋がりやすいため、以下のようなことに気を付けてください。

- 作業前に取扱手順・使用上の留意点を再確認
- 日頃から危険箇所を把握・共有
- トラクター等運転時は、シートベルト・ヘルメットを着用
- 点検時はエンジンを停止

【令和7年度に県内で発生した機械利用時の死亡事故】

発生日	市町村名	年齢／性別	事故内容及び原因等
5/8	五泉市	70代男性	当日一人でトラクターを運転していた。エンジンが稼働中、被災者の衣服に火が着火し、座席シートに広がり、トラクターを含め周辺の可燃物が延焼した。タバコの火が衣服に着火したことが、原因と思われる。
7/24	柏崎市	60代男性	ほ場へ向かった後、しばらく戻らなかった。家族が様子を見に行ったところ、刈払機が爆発しており、被害者も燃えていた。
8/2	新潟市	50代男性	河川敷の畑で一人でトラクターで耕耘作業中、草がローターに絡まった。何らかの要因により、上半身がローターに巻き込まれたと推測される。被災者は意識を失う前に、自ら家族に助けを求める電話をしたことから、家族が畑で倒れている被災者を見つけ119番通報。市内の病院へ搬送されたが死亡。

【参考】 農作業事故発生件数と死亡者数の推移（直近10年間）



事故総数、死亡者数とも増減を繰り返しています。

令和7年度は、前年度に比べ事故総数が増加しましたが、死亡者数は減少しました。死亡事故ゼロを目指し、引き続き農作業安全に取り組みましょう。

3 年代別事故状況

農作業事故は世代を問わず発生していますが、特に60代以上で多く発生しており、全体の73%を占めています。

熟練した農業者の方でも、日々の体調や作業遅れによる焦りなどで事故を起こしてしまうことがあります。慣れた作業でも、自分は大丈夫と思い込まず、作業前に起こりうる事故を想定し、その対策を考えて作業を行うことが重要です。

(単位：人)

	10代 以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	不明	合 計
死亡				1	1	1	2	1		6
重傷				1	1	5	8	1		16
軽傷	1	3	5	2	2	11	16	6		46
不明				1	2		2	1		6
合計	1	3	5	5	6	17	28	9	0	74

4 原因別事故状況

事故件数の多い「農機以外の事故」は、用水路への転落やはしごからの転落などです。

また、6月以降は熱中症も多く発生していますので、こまめな休憩、水分・塩分補給など、熱中症予防に取り組みましょう。

(単位：件)

期 間 原因等	4/1～5/31	6/1～8/31	9/1～10/31	11/1～3/31	合 計	構成比
トラクター	5(1)	1(1)	2	1	9(2)	12.2%
耕うん機	5				5	6.8%
防除機					0	0%
コンバイン			4		4	5.4%
田植機	2				2	2.7%
草刈機・刈払機		8(1)			8(1)	10.8%
その他農機	2	6	1	1	10	13.5%
農機以外	6	9	4	2(1)	21(1)	28.4%
自動車・運搬機		1	1	2(1)	4(1)	5.4%
熱中症		5	3		8	10.8%
動物等			1		1	1.4%
不明			1	1(1)	2(1)	2.7%
合計	20(1)	30(2)	17	7(3)	74(6)	

・かっこ内は、事故件数のうちの死亡事故の件数

・構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。